

# 拓水

3月号  
No. 282

発行所  
兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
〒652 神戸市兵庫区中ノ島2-2-1  
兵庫県漁業協同組合  
発行人  
会長理事 山田岸松  
TEL 681-6954~7  
一部 10円

## 海浜で 1500m<sup>3</sup>のゴミ除去 淡路漁場クリーンアップ事業の成果



青年・婦人部等による海浜清掃作業

### 海岸線は美しく 期待される今後の取り組み

「海岸線を美しく保全することは、国民の守るべき原点ではなからうか。それが淡路においては最近とくに汚れが目立ち、54年4月、北淡町の主婦ら77人がゴミ等の海浜不法投棄で神戸海上保安部に検挙されたこともあり淡路県民局を中心に、淡路クリーンアップ作戦が一斉に展開されたが、なかでも県水産課においては国の「漁場クリーンアップ試験調査事業」を導入し、海浜海底の清掃に高率補助をもって実施に当たったことは、関係者に高い評価を呼んでいる。

瀬戸内海漁船保険組合によれば、この10年間にナイロン、流木等による漁船事故額は10倍に増加、廃棄物対策は、次第に遅れておられないようになつてきている。今後の取り組みが期待される。

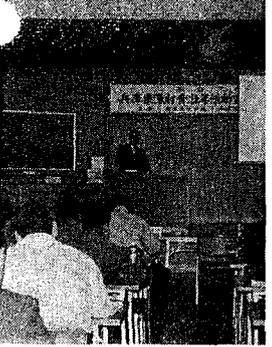
淡路クリーン作戦の重要性と漁業者の考えをもっと野 美しい海岸線といふことも卒直に表明した淡路水交(とをやはり守って行かなければならないと思ふ。54年4月、淡路県民局を中心に鳥を美しくする運動が展開され、海岸にゴミを捨てない清潔な鳥づくりが進められていくが、これもいづれな問題点がある。

たとえば風向きによって阪神、播磨などのゴミがどつと漂着すること、それに馴れて漁民が安易に海岸にゴミを捨てること、釣人が無責任に海岸を汚すことなどである。

海岸のゴミは海中に入りせつたか、漁場をダメにするし、ビニール類はエンジンの循環水バルブにつまつて焼けてしまう。

これをなせわれわれ漁業者が始末しなければならぬ。いか。そういう不満をのべる漁業者も多いが、直接の被害者である漁民が、我々の働く職場を守るためになく立ち上らざるを得ない状況である。」

「淡路は、緑豊かな山環境保全月間を定め(1)小、中学生から標榜募集(2)懸垂器を県総合庁舎、各町内会等の善意の人たち、約二百台にのぼるトラックブルドーザーの建設業者のた。



### 「魚礁漁場の有効利用」で 水産庁長官賞を受賞

—沼島漁協青年部—

今年で二十六回をむかへ、二十八日の両日にわたつた全国漁村青年婦人活動つて東京水産大学で開催された実績発表大会が二月二十日、

この大会は全国の漁村での漁業生産技術や経営上の諸改善研究などの実績を発表し、各都道府県の代表者の討議や意見等を通して沿岸漁業等の振興に寄与しようとするものである。

同大会は農林水産省参加行事としてこれまで数グループが天皇杯、内閣総理大臣賞を獲得するなどの研究成果が高く評価されてきている。

本県からは、沼島漁協青年部が、



第7回全国婦人水産業従事者大会  
主催 水産庁 企画指導 淡路水産庁 農林水産省

研究討議に熱が入る (中央: 中谷明石浦婦人部長)

「この試験調査の結果をふまえて、国の制度化に取組まねばならない」との強い言葉が印象に残つたのである。

前記した淡路県民シンポジウムにおける副正次郎

### 今後の婦人部活動を発表

明石浦漁協婦人部

生活改善と健康管理に関すること

9グループ

第二分科会

組織に関すること

9グループ

第三分科会

地域環境に関すること

8グループ

以上26グループの発表、研究討議の後、世羅幸水農団推進会長、堀田氏の「村づくりと漁婦人部活動」と題しての記念講演が行われ、本大会には参加した人部が出場し、中谷昭子さんが「私たちが婦人部の実績」を第二分科会で発表し、全漁連会長賞を受賞した。

第一分科会

研究討議に参加していた。

(別表)  
昭和54年度漁場クリーンアップ試験事業実績

事業主体	事業費 千円	廃棄物除去実績				計
		ビニール類	ゴミ類	屑類	その他	
洲本市	2,400	135 <sup>m</sup>	19 <sup>m</sup>	27 <sup>m</sup>	44 <sup>m</sup>	225 <sup>m</sup>
津名町	2,160	69	5 <sup>7</sup>	8 <sup>4</sup>	36 <sup>9</sup>	120
東浦町	2,856	12 <sup>2</sup>	7 <sup>0</sup>	16	87 <sup>8</sup>	123 <sup>0</sup>
淡路町	3,900	42 <sup>0</sup>	—	29 <sup>7</sup>	67 <sup>0</sup>	140 <sup>0</sup>
北淡町	2,940	62	13	28 <sup>5</sup>	157 <sup>5</sup>	261
一宮町	1,620	30 <sup>5</sup>	4 <sup>1</sup>	8 <sup>9</sup>	37 <sup>0</sup>	81 <sup>4</sup>
五色町	1,380	25 <sup>7</sup>	—	26 <sup>7</sup>	60	112 <sup>4</sup>
西淡町	2,460	87	22	8	120	237
南淡町	5,139	113 <sup>1</sup>	12 <sup>8</sup>	23 <sup>2</sup>	107 <sup>7</sup>	256 <sup>8</sup>
合計	24,855	557 <sup>4</sup>	84 <sup>5</sup>	176 <sup>4</sup>	719 <sup>7</sup>	1,558

### ゴミによる漁船被害は1億3千万円

55年1月21日、この事業の実績検討会が、神戸市生田区にじきく館で開かれ、約二百名にのぼるトラックブルドーザーの建設業者のた。

「この試験調査の結果をふまえて、国の制度化に取組まねばならない」との強い言葉が印象に残つたのである。

前記した淡路県民シンポジウムにおける副正次郎

いかず、とくに白風による漂着物は放置されたままになるか、あるいは漁民の手によって片づけられるか、なればならぬ。このときを以て、県水産課が国の「漁場クリーンアップ試験調査事業」を導入し、海浜海底の清掃に高率補助をもって実施に当たったことは、関係者に高い評価を呼んでいる。

瀬戸内海漁船保険組合によれば、この10年間にナイロン、流木等による漁船事故額は10倍に増加、廃棄物対策は、次第に遅れておられないようになつてきている。今後の取り組みが期待される。

### 豊かな漁業のふるさとづくり

こうして、54年度の淡路水交会長の意見表明の中心になり、残念ながらクリーン作戦は着をすすしめくりは次のようであった。淡路は、タイの活づくりなどよく知られ、そうしおいしい魚を食べべにおずれる人も多数にのほつて豊か多幸の幸と美しい海岸線を守って行く、それが最も大切な、漁業のふるさとづくりである、私は信じているのである。」

「淡路は、タイの活づくりなどよく知られ、そうしおいしい魚を食べべにおずれる人も多数にのほつて豊か多幸の幸と美しい海岸線を守って行く、それが最も大切な、漁業のふるさとづくりである、私は信じているのである。」

「淡路は、タイの活づくりなどよく知られ、そうしおいしい魚を食べべにおずれる人も多数にのほつて豊か多幸の幸と美しい海岸線を守って行く、それが最も大切な、漁業のふるさとづくりである、私は信じているのである。」





# 10月の海況と漁況

## ◎海況

※播磨灘……1～2日実施した調査結果では、東部表層24.8℃～25.2℃、中～底層24.3℃～24.9℃を示し平均比較で各層とも+1.0℃内外高目、北西部表層24.4℃～24.9℃ではほぼ平年並、中～底層24.8℃～25.2℃で+0.4℃～+0.6℃とやや高目、南西部表層25.0℃～25.5℃で+1.2℃、中～底層24.5℃内外ではほぼ平年並を示し全般的には前月の低目に對し今月はやや高目に経過している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……22～23日実施した調査結果では北部各層とも22.0℃内外、南部各層とも22.2℃～22.5℃を示し南・北両海域各層ともほぼ平年並である。

※紀伊水道北部……22日の調査結果では東部表層22.3℃で平年並、中～底層23.1℃～23.5℃で+0.8℃～+1.0℃高目、中部各層とも22.5℃～22.8℃で+0.3℃～+0.4℃とやや高目、西部各層とも22.3℃～22.4℃で表・中層で+0.3℃～+0.4℃、底層では平年並を示し8、9月に発生した冷水塊は今月に入り完全に消滅した。

## ◎各地の漁況

(註・以下は1日1隻当りの平均漁獲量、@は1キロ当りの平均単価門、何隻は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網マダコ6キロ@900、エビ5キロ@1,750、ハリイカ20キロ@2,500@300、ガザミ10キロ@2,500、メイトカレイ10キロ@5,000@3,000、アマカレイ7キロ@4,200@2,500、クルマエビ2キロ@6,500、ウマズラハギ30キロ@700@200、10隻(大阪湾北西部夜・昼曳)。マダコ5キロ@900、エビ5キロ@1,750、ハリイカ20キロ@2,500@300、メイトカレイ15キロ@4,000、小メイトカレイ@1,500～3,000、アマカレイ5キロ@4,000@2,500、クルマエビ2キロ@6,500、25隻(播磨灘東部夜・昼曳)。浮流し釣。サワラ10キロ@1,500、サゴシ15キロ@800、40隻。各曳網釣タチウオ100尾1尾150(目廻350g)10隻、コイチ40尾@400、40隻。ハマチ20尾1尾1,000、10隻。延縄アマカレイ25～30キロ@4,500@2,500、5隻。吾智網マダイ10キロ@9,500、ハマチ100尾1尾900、各3隻。ブンチン漕イシカレイ6キロ@1,750、アカエイ10キロ@400、5隻。

※岩屋……船曳網カタクチシラス100～200キロ@1,000～1,200、15統。小型底曳網エビ8キロ@1,900、@10キロ@800、シログチ10キロ@350、その他7キロ@1,000、35隻。吾智網マダイ10キロ、@5,000～7,000、アコオ2キロ@5,000@2,000。各1本釣ハマチ5キロ@1,330、コイチ10キロ@500、カサゴ5キロ@2,300@1,500、合計60隻。延縄アマカレイ5キロ@4,880、キス20キロ@1,900@800、8隻。流刺網25キロ@1,300、5隻。タコ壺網25キロ@1,150@4隻。突棒マダコ3キロ@800、ナマコ(赤)2キロ@3,000(青)3キロ@500、4隻。

※由良……小型底曳網マダイ10キロ@5,950、10隻。ウシノシタ15キロ@1,760、20隻。キス4キロ@1,400、シラサエビ3キロ@1,500、マダコ2キロ@1,300、アナゴ3キロ@1,600、その他10キロ@600、30隻。各刺網キス8キロ@1,400、6隻。アマカレイ5キロ@3,200、カワハギ10キロ@2,700、チヌ6キロ@3,500、その他8キロ@700、10隻。各延縄マダイ4キロ@6,250、3隻。アナゴ15キロ@1,800、3隻。カサゴ15キロ@2,200、7隻。キス10キロ@2,000、2隻。一本釣マダイ1キロ@6,000、50隻。各曳網タチウオ10キロ@840、20隻。サワラ2キロ@1,600、ハマチ3キロ@1,600、30隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ10キロ@1,500、アナゴ12キロ@800@400、ハリイカ10キロ@580、キス12キロ@650、ガザミ6キロ@2,000@800、カマス7キロ400、ハモ35キロ@1,400@700、48隻。各一本釣マダイ5キロ@5,100@4,000@3,300、アジ17キロ@1,800、合計55隻。延縄30キロ@550、2隻。刺網ウマズラハギ13キロ@1,000@300、アマカレイ3キロ@5,000@3,500、23隻。突棒アワビ7キロ@3,000@2,000、マダコ2キロ@650、サザエ6キロ@1,000、6隻。

福良……小型底曳網アカシタ4キロ@1,000、シラサエビ8キロ@3,500、カワツエビ5キロ@2,000、雑エビ@8キロ@200(活)1,200(死)600、@7キロ@200、ガザミ@1キロ@3,000、@3キロ@1,200、その他3キロ@800、24隻。アオシタ5キロ@2,000、クルマエビ2キロ@7,000、アマカレイ15キロ@2,000、1隻。吾智網マダイ@5キロ@3,700、@2キロ@2,000、カマス13キロ@1,200、キス10キロ@1,000、5隻。各散餌釣ヒラアジ@5キロ@1,600@35キロ@600、1組。チヌ4キロ@1,700、ハマチ20キロ@800、メジロ15キロ@900、イサギ17キロ@400、3組。各曳網タチウオ@7キロ@1,000@55キロ@400、35隻。サワラ30キロ@1,350、サゴシ2キロ@700、78隻。各延縄マダイ3キロ@3,750、チヌ20キロ@1,700、1隻。トラフグ@4キロ@13,500、@3キロ@9,700、13隻。刺網アマカレイ2キロ@2,000、カサゴ5キロ@1,000、タナゴ2キロ@1,300、ウマズラハギ3キロ@1,000、6隻。各突棒ウニ45キロ@600、12隻。サザエ6キロ@700、アワビ4キロ@2,300、マダコ2キロ@900、7隻。

# 11月の海況と漁況

## ◎海況

※播磨灘……5～6日実施した調査結果では東部各層とも21.7℃、北西部各層22.0℃内外、南西部各層21.7℃～21.9℃を示し、全域にわたって地域的並びに各層水温差は僅少であるが、平年比較では東部で+1.3℃、北西部で+1.6℃南西部で+1.2℃と前月より高目を示している。

※大阪湾西部(淡路島寄り)……20日実施した調査結果では北部各層とも19.0℃内外で-0.3℃、南部表～中層18.7℃～18.9℃、底層19.5℃内外で-0.2℃～-0.3℃と南北両海域とも前月に引續いてはほぼ平均並である。

※紀伊水道……20日実施した調査結果では東部表～中層19.8℃～19.9℃で平年並、底層20.6℃で+0.5℃高目、中部各層とも19.8℃～19.9℃ではほぼ平年並、西部各層とも19.3℃で+0.3℃と全海域(東部・中部・西部)各層にわたってほぼ平年並となっている。

## ◎各地の漁況

(註・以下は1日1隻当りの平均漁獲量、@は1キロ当りの平均単価門、何隻は操業隻数)

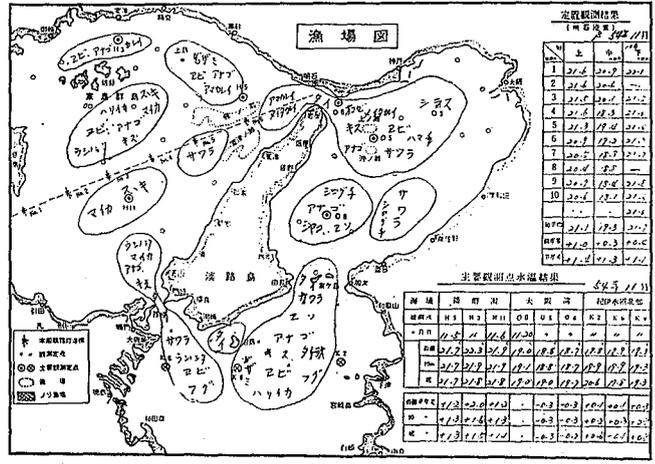
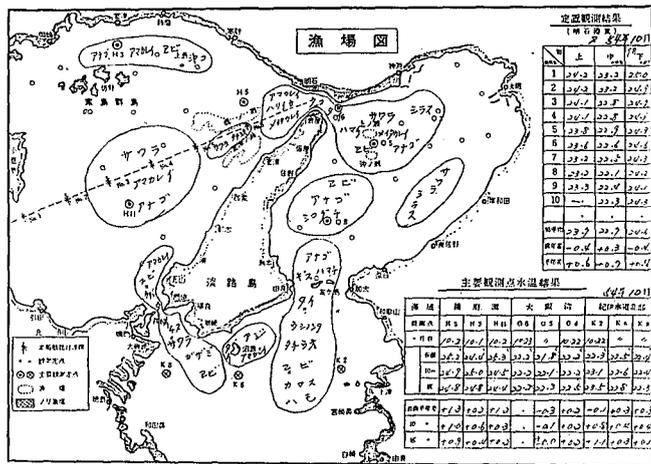
※明石浦……小型底曳網メイトカレイ10キロ@3,500@1,500、アマカレイ10キロ@1,200@800、オコゼ3キロ@5,750、アナゴ4キロ@2,250、キス8キロ@1,800、@500、10隻(大阪湾北西部)。メイトカレイ10キロ@4,500@3,000、アマカレイ10キロ@800～1,200、マダコ4キロ@2,000@1,500、アナゴ4キロ@2,500@1,500、25隻(播磨灘東部)。曳網サワラ10キロ@2,250、30隻。延縄アナゴ45キロ@1,500、2隻。ブンチン漕イシカレイ15キロ@1,000@500、6隻。

※岩屋……小型底曳網エビ6キロ@1,800、キス7キロ@1,300、アナゴ20キロ@1,000、その他10キロ@1,000、30隻。吾智網5キロ@8,000@4,000、7隻。浮流し釣9キロ@1,750、サゴシ3キロ@1,100、30隻。各一本釣ハマチ5キロ@1,400、ウマズラハギ5キロ@1,600@330、メバル3キロ@2,700@1,700、合計40隻。延縄アナゴ75キロ@1,800、14隻。刺網キス17キロ@1,300、7隻。タコ壺網25キロ@1,100、4隻。突棒ナマコ(赤)2キロ@3,000(青)15キロ@500、アワビ2キロ@3,000、12隻。

※由良……小型底曳網マダイ8キロ@6,390、10隻。ウシノシタ15キロ@1,520、27隻。キス5キロ@1,200、シラサエビ3キロ@2,100、小エビ20キロ@472、マダコ1キロ@1,500、アナゴ2キロ@930、その他10キロ@400、40隻。各刺網キス15キロ@1,500、7隻。アマカレイ3キロ@3,000、カワハギ10キロ@1,990、イセエビ2キロ@7,000、その他8キロ@800、10隻。各延縄マダイ3キロ@6,500、2隻。アナゴ25キロ@1,020、3隻。カサゴ10キロ@2,040、4隻。キス10キロ@1,700、2隻。各一本釣マダイ1キロ@6,500、50隻。ハマチ3キロ@1,800、30隻。ハギ類7キロ@2,080、15隻。曳網タチウオ10キロ@790、5隻。

※沼島……小型底曳網ハリイカ7キロ@900、カワツエビ4キロ@1,200、小エビ3キロ@150、アナゴ25キロ@750、48隻。各一本釣マダイ2キロ@6,000@4,600@3,250、60隻。カサゴ6キロ@1,150、3隻。ウマズラハギ13キロ@1,000、5隻。延縄アナゴ35キロ@800、2隻。刺網マダコ22キロ@4,000@2,500@2,000、ウマズラハギ25キロ@1,000@300、2隻。突棒ナマコ15キロ@1,500、アワビ3キロ@2,500、サザエ2キロ@1,000、8隻。

※福良……小型底曳網アカシタ4キロ@1,000、シラサエビ8キロ@3,500、カワツエビ4キロ@2,000、雑エビ@7キロ@900、@7キロ@200、ガザミ@1キロ@3,000、@4キロ@1,200、アマカレイ4キロ@800、24隻。アオシタ3キロ@2,000、メイトカレイ6キロ@2,000、アマカレイ5キロ@2,000、1隻。吾智網マダイ5キロ@4,100、キス7キロ@1,200、カマス4キロ@1,500、ハリイカ2キロ@600、5隻。撒餌釣ハマチ140キロ@750、チヌ2キロ@1,800、ウマズラハギ8キロ@350、アジ3キロ@700、3組。曳網サワラ18キロ@1,500、サゴシ9キロ@900、60隻。延縄トラフグ@4キロ@13,600、@2キロ@9,800、@7キロ@800、10隻。各刺網キス4キロ@1,300、シログチ5キロ@500@2隻。アマカレイ2キロ@2,000、カサゴ2キロ@1,000、メバル2キロ@1,000、ベラ4キロ@850、アイナメ5キロ@800、6隻。各突棒サルウニ25キロ@600、ムラサキウニ3キロ@1,300、16隻。アワビ7キロ@2,650、サザエ4キロ@800、マダコ2キロ@1,000、5隻。





# 製品管理には 万全の対策を

各地区の結果を総括すると、水温は各地区とも昨年比べて2.0〜2.5℃低く、昨年、一昨年の二見沖水温の記録を見ると1℃上昇するの1ヶ月要している。この結果を本年に於てはめることはできないが、水温的には5月中旬まで生産できるものと思われる。

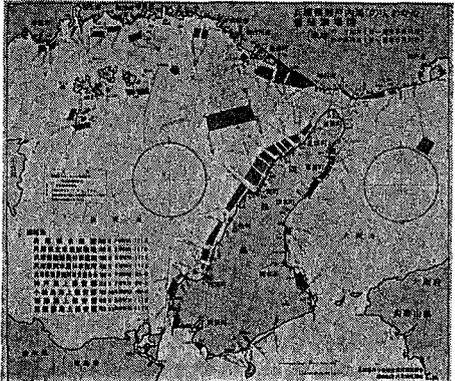
塩分は29.5〜31.6%と正常である。

PHは8.33〜8.55で、一般に言われている値より若干高いが、これは釣り漁場の海水のためと思われる。

透明度は35〜90mで由良の3.5mは後述した通りである。それ以外は正常な値と思われ。

CODは0.93〜2.02 PPMで、この値は、尾形が述べている通りである。

栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして0.56γ、NH<sub>4</sub>-Nとして3.0〜3.5γであった。



NO<sub>3</sub>-Nを測定していないために何ともいえないが、作柄等とも考え合わせると、のり成長に必要なのは、赤穂以外の地区では含まれているものと思われる。

## ▽……各地区の状況……△

### 西播地区

赤穂・網干を調査した。(赤穂は今回補助点を追加した。網干は強風のため、り芽のサンプリングは中止) 2月28日現在、赤穂では、水温8.8℃で昨年同月より2.5℃低い。塩分29.9%と若干低い。透明度は6.0mと良好。CODは1.31γ、1.49 PPMと良好である。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして0.87γ、NH<sub>4</sub>-Nとして0.37γ、14で、県下一番低値であった。

作柄は栄養塩類低下のため極度の色落ち以外は病害も少なく成長している。今後は、降雨、河川水等による栄養塩の増加を待たねばならない。

網干では、水温13℃で昨年同月より2.0℃低い。塩分29.6%と若干低い。CODは1.09 PPMと良好である。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして1.37γ、NH<sub>4</sub>-Nとして3.5γであった。

### 淡路西浜地区

室津浦・那家を調査した。室津浦では、水温13℃、塩分31.0%、透明度9.0m、COD 1.18 PPMと良好であった。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして2.87γ、NH<sub>4</sub>-Nとして1.47γであった。

作柄は、張り替えが終了し、小休止状態である。水温上昇に伴ない生産盛期になるだろう。

### 淡路南浜地区

阿万を調査した。水温は8.9℃で最高であった。塩分31.1%、透明度8.0m、COD 0.93 PPMでCODは県下最低であった。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして5.67γ、NH<sub>4</sub>-Nとして3.47γであった。

作柄は、現在1〜2回摘みで順調に生育中。

### 東播地区

東二見・林崎・神戸を調査した。明石地区では、水温7.8〜8.0℃で昨年同月より2.0℃低い。塩分31.2〜31.3%、透明度6.5〜7.0m、COD 1.29〜1.46 PPMでまずまず良好である。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして2.1〜2.7γ、NH<sub>4</sub>-Nとして3.5γであった。

作柄は、順調で最盛期だが、付着珪藻(リクモフォラ)が多いのが気になる。神戸では、水温8.2℃で昨年同月より2.0℃低い。塩分31.0%、透明度1.1m、COD 1.86 PPMと良好である。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして1.2γ、NH<sub>4</sub>-Nとして3.5γと良好であった。

作柄は順調だが、明石地区同様付着珪藻が多い。

### 放浪記(九)

その中に次々仲間が入店し、デパート専属売子になる女子店員もやって来た。我々男子は名刺に「辻本商店熱帯魚係」の肩書を入れさせられた。主任は主人の奥さんの弟で、これが身長一米八〇近く、しかもスリットな苦味走った男、男前な堂々たる容姿の持であった。仲間受けが良かった。いつも店に来るドイツ人一米八〇位の男がいたが、我々が接待に出て、彼等の如き小男では用は非也、昔の高いのを出せ」と手真似で、従来から居る金魚係の三名の店員を加えて、総勢七〜八名になった。女子店員は勿論通動だが、男性はすべて住み込み、いやなくにぎやかなことで

## 漁協一代(その八) 作花英治

あった。朝は四時半起床。金魚担当は、両持をかついで街頭を走り歩くと、金魚屋が仕入れに来ているのを相手に一尾五面の琉金から一銀二銭の和金を取った。朝は四時半起床。金魚担当は、両持をかついで街頭を走り歩くと、金魚屋が仕入れに来ているのを相手に一尾五面の琉金から一銀二銭の和金を取った。

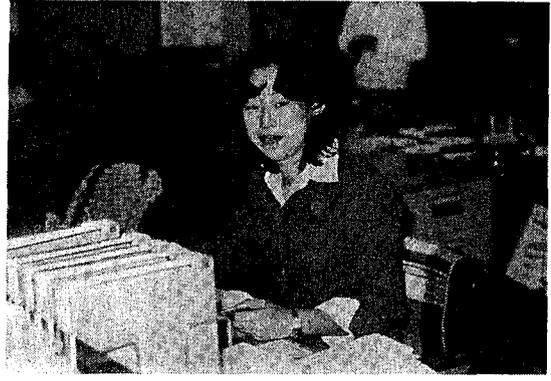
王寺駅の客車便に積み込まれた。十二時過ぎの終電時刻まで、その手伝いで寝ることはできなかった。舞いせねばならぬ。八時前の朝食は七十余才の隠居の老人を頭に、主人家族我々従業員一同一しよに食った。夜は終り当番が温室のストーブ火加減を見る位であったが、地方発送の金魚を天三越の六階に売場を開設して五月に入ってから、三越における熱帯魚の説明は素晴らしいと、話されたこともあった。

すことにしたから、お前一つその設備をやら」と命令を受けた。他の者も高層、阪急にそれぞれ派遣された。只大丸だけは完成したばかりの御堂筋に面して、心齋橋側の旧店舗にうつけて新店舗増設中であつたのでそれが完成してから新しい方の店に開設するということであった。私はせつせと神戸三越に通った。売場オープン後、物珍しきのぞき込むお客が多かりが、英語を話さず説明を兼ねて、両側からはさみ打ちの電車の音も聞こえる。後年漁協を終生の仕事とするようになって来た一貫君の三越における熱帯魚の説明は素晴らしいと、話されたこともあった。



## 漁協(ちよつと)のぞきみ

柴山港漁協 吉津真由美さん



冬はカニ、夏はイカでにぎわう柴山港漁協は山陰線柴山駅から北に歩いて15分のところにあります。昭和54年の水揚げは4,500トン、2.9億円でした。

今回はそこで働らく女性を訪問してみました。

△プロフィール▽

柴山港で生まれ育った吉津さんは山陰の冬景色をおもわせるような色白美人。学校を卒業して漁協に就職、今年で三年を迎える。現在は信用部に勤めようとしている。

△香住町の基幹産業は漁業、そんな仕事に従事した感想は。

(答)二〇〇海里時代に入って漁業経営の方向がどのようになるかちよびり不安です。私の父も漁業をしていますが、食生活は人間の基本。衣食足りて礼節をしようといま

## 昭和55年度学資給与 奨学金貸与事業の方針

昭和55年度の財源確保、難道児育英会の事業が全面的に改善されることになり現在、規程の一部改正の手続きがおこなわれています。事業改善方針は次のとおりです。

1. 学資給与事業  
小学生月額二〇〇〇円、中学生月額三、〇〇〇円、高校生月額三、五〇〇円をそれぞれ増額。

2. 奨学金貸与事業  
現行月額五、〇〇〇円又は月額二、五〇〇円を三、五〇〇円にそれぞれ増額。

新規に、四、五才幼稚園児、保育園児に対し、月額

## 補助点

今回は坊勢を調査した。水温8.5℃、塩分31.6%、COD 1.49 PPMと良好である。栄養塩類はNO<sub>3</sub>-Nとして2.87γ、NH<sub>4</sub>-Nとして1.47γであった。

作柄は、心配された色落ちも少なく順調であるが付着珪藻が多いのが気になる。

いすゞ マリンエンジン UM06BB1B 高速への挑戦!

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社 〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL (078)811-1171(代)